

EBC研究会ワークショップ2008のご案内

日 時：2008年4月25日（金）14:00～19:00

場 所：くにびきメッセ 601大会議室（TEL：0852-24-1111, <http://www.kunibikimesse.jp/>）

参加費：会場費等として1,000円を受付時に徴収させていただきます。

参加申し込み：下記事務局に3月31日までに電子メールにてお願いします。申し込みをされた方には講演要旨をメール(PDF)で事前にお送りしますので、当日ご持参ください。なお、当日も会場にて受け付けを行います（13:00～）。

懇親会（会費4,500円程度）：JR松江駅近くで19:30より予定しております。参加をご希望の方はワークショップ申し込み時にお申し出下さい。なお、会費は、懇親会場で徴収させていただきます。

プログラム

13:00 受 付

14:00 開 会

14:00～14:55 長期残効型水稻箱処理剤を基幹とした防除体系に穂いもち防除は必要か
—特にオリサストロビンについてのエビデンスメーク—
石黒 潔（農林水産技術会議事務局筑波事務所）

14:55～15:40 生物農薬ベジキーパー（シュードモナス フルオレッセンス水和剤）の効果的使用のための
エビデンスメークと同剤を基幹としたレタス、キャベツ病害の体系防除
小木曾秀紀（長野県野菜花き試験場）

15:40～16:25 キュウリ褐斑病防除におけるエビデンスメーク —特に、初期防除の重要性—
富田恭範（茨城県農業総合センター園芸研究所）

— 休 憩 —

16:40～17:25 モモ病害の防除体系におけるエビデンスメーク
—果実の糸状菌病害を中心として—
井上幸次（岡山県農業試験場）

17:25～18:10 ブドウ病害の防除体系におけるエビデンスメーク
—九州で問題となる病害（黒とう病、枝腫病、べと病、晩腐病）を中心として—
井手洋一（佐賀県果樹試験場）

18:10～18:45 よりよいエビデンスのための統計処理のいろは
—検定からの脱却と頻度データ処理のツボ—
田代暢哉（佐賀県上場営農センター）

18:45～19:00 総合討論

19:00 閉 会

問い合わせ先：研究会事務局

東京農業大学農学部植物病理研究室 根岸寛光（e-mail: negishi@nodai.ac.jp）